

# ジョルディ・サヴァール & エスペリオン XXI

スペイン黄金世紀の舞曲  
フォリアとカナリオ ~旧世界と新世界~

Jordi Savall & Hespèrion XXI Foliás & Canarios In the Old World & the New World

150 AÑOS 年  
日本スペイン  
ESPAÑA JAPÓN

ハビエル・ティアス=ラトーレ

テオルボ

Xavier Díaz-Latorre  
Theorbo

ジョルディ・サヴァール

音楽監督, トレブル・ヴィオール, バス・ヴィオール

Jordi Savall

Direction, Treble Viol and Bass Viol

太陽の沈まぬ国

光と翳の舞曲

アンドルー・ローレンス=キング

スペイン・バロック・ハープ

Andrew Lawrence-King  
Spanish baroque harp

ダビド・マヨラル

パーカッション

David Mayoral  
Percussions

ハビエル・プエルタス

ヴィオローネ

Xavier Puertas  
Violone

2018年 **11月24日** [土] 15:00開演 (14:30開場) 三鷹市芸術文化センター風のホール 三鷹市上連雀6-12-14

チケット発売日 マークル会員6月6日(水) / 一般6月13日(水)

料金 (全席指定) マークル会員S席5,400円・A席4,500円 / 一般S席6,000円・A席5,000円 / U-23 (23歳以下/S席・A席共通) 3,500円\*

\*U-23ご利用の中学生以上の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。

プレイガイド

●三鷹市芸術文化センター \*発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。

・電話予約 チケットカウンター **0422-47-5122** [10:00-19:00 / 月曜休館 / 月曜が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館]

・インターネット予約 <https://mitaka-art.jp/ticket> \*事前登録(無料)が必要となります。\*携帯電話からの場合、座席は自動採番です。

●イープラス <http://eplus.jp>

主催・お問い合わせ 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 **0422-47-5122**

後援: スペイン大使館

## カルロス1世 (神聖ローマ帝国皇帝カール5世) の時代

ディエゴ・オルティス: ラ・スパーニャ

作曲者不詳 (CMP 121) / 即興: フォリア・アンティグア

作曲者不詳 (CMP 12) / 即興: フォリア・アンティグア「ロドリゴ・マルティネス」

ジョスカン・デ・プレ/ルイス・デ・ナルバエス: 千々の悲しみ「皇帝の歌」

ディエゴ・オルティス: フォリアIV-パッサメッツォ・モデルノIII

ルッジェーロ・ロマネスカVII-パッサメッツォ・モデルノII

フランチェスコ・コルベッタ: 前奏曲-カプリス・ド・シャコンヌ

スペインのフォリア

ディエゴ・オルティス: パッサメッツォ・アンティコ-サラバンダV

作曲者不詳 / 即興: ティシュトラの伝統的なグアラージャ

## フェリペ2世の時代

ペドロ・ゲレーロ: ダンサ・モリスカ

アントニオ・デ・カベソン: フォリア

バヴァーヌとそのグローサ

作曲者不詳 (トルヒーリョ写本、ペルー) / 即興: カチュア・セラニータ

サンティアゴ・デ・ムルシア: ファンダンゴ

作曲者不詳 / 即興: フォリアに基づくディファレンシア

フランシスコ・コレア・デ・アラウホ: "Todo el mundo en general" に基づくグローサ

作曲者不詳 / 即興: カナリオス

アントニオ・バレンテ / 即興: ガリャルダーハラベ・ロコ (ハローチョ)

Program



# 鬼才サヴァールとエスペリオンXXIが旧世界と新世界の舞曲で綴る カルロス1世（カール5世）とフェリペ2世の物語

2017年に「ケルティック・ヴィオール」と題したコンサートが好評を博したサヴァールが、自身のアンサンブル、エスペリオンXXIと共に再び風のホールに登場します。

スペイン、ポルトガルを擁するイベリア半島の音楽の発掘に絶大な貢献をしているサヴァールが今回取り上げるのは、イベリア半島で生まれ、ルネサンスからバロック時代においてヨーロッパで流行した二つの舞曲—フォリアとカナリオをテーマにしたプログラムです。フォリアは15世紀末のイベリア半島に起源を持つといわれる舞曲で、カナリオはアフリカにほど近いカナリア諸島で生まれたといわれる舞曲です。

舞台となっているのは、スペインで美術、音楽、文学の優れた作品が次々と生まれた15世紀から17世紀にかけての「黄金世紀」(黄金時代)と言われる時期で、コロンブスが新大陸を発見し、マゼランが世界周航を初めて成し遂げ、地球規模で

始まった海上交易を通じて人、物、文化がダイナミックに行き交うようになった「大航海時代」にも重なります。この時代のうち、今回焦点が当てられているのは16世紀。スペイン帝国最盛期を治めた二人の王—70もの称号を持ち、空前の一大帝国を統治したスペイン王カルロス1世(神聖ローマ帝国皇帝カール5世)とその長男でアメリカ新大陸からアジアにかけて広大な「太陽の沈まぬ国」を統治した、フェリペ2世の時代です。

本公演ではスペイン黄金世紀に流行した舞曲、舞曲起源の変奏曲、スペインの植民地となった中南米で生まれた舞曲などを即興も交えてお聴きいただきます。自由に、ファンタジックに、鮮やかに演奏されます。古楽がお好きな方、スペインがお好きな方、イベリア半島や中南米の音楽がお好きな方、スペインの歴史にご興味のある方は必聴の、新たな発見に満ちたコンサートになるに間違いありません! ご期待ください。



## ジョルディ・サヴァール

音楽監督  
トレブル・ヴィオール、バス・ヴィオール  
Jordi Savall  
Direction, Treble Viol and Bass Viol

「ジョルディ・サヴァールは、無限の多様性を持つ共通の文化遺産を証明している。彼は私たちの時代の人間である。」(イギリス・ガーディアン紙2011)

1941年、スペイン・バルセロナ県イグアダダ生まれ。同世代の最も多彩な音楽家であるサヴァールは、飽くことなき古楽研究者、ヴィオール(ヴィオラ・ダ・ガンバ)奏者、指揮者として、50年以上の間、忘れられていた音楽の原石を全ての人々が楽しめるように復活させている。

故モンセラート・フィグラスと共にエスペリオンXXI(1974)、カペラ・レイアル・デ・カタルーニャ(1987)、ル・コンセル・デ・ナシオン(1989)を立ち上げ、感情と美の世界を探索。何百万という世界中の古楽愛好家を魅了している。

これまでに録音し、リリースした230以上のディスクは中世、ルネサンス、バロック、古典派のレパートリーを羅列し、特にヒスパニックと地中海の音楽に焦点を当てている。ミデム・クラシック賞、国際クラシック音楽賞、グラミー賞など数多くの賞を受賞。アラブ、イスラエル、トルコ、ギリシャ、アルメニア、アフガニスタン、メキシコ、北米出身者とも共演。2008年には、異文化間の対話のための欧州連合大使に任命され、フィグラスと共にユネスコの「グッド・ウィル・アンバサダー」プログラムのもと「平和のためのアーティスト」と冠された。

その多大な音楽活動に対し、エヴォラ(ポルトガル)、バルセロナ(カタルーニャ)、ルーヴェン(ベルギー)、バーゼル(スイス)各大学の名誉博士号が授与され、レジオンドヌール勲章(フランス)、カタルーニャ総督賞、ドイツ・ニーダーザクセン州文化科学省によるブレトリウス音楽賞、そして音楽界のノーベル賞である名高いレオニー・ソニグ賞など名誉ある賞も数多く受賞している。

## エスペリオンXXI

Hespèrion XXI



ハビエル・プエルタス  
ヴィオローネ  
Xavier Puertas  
Violone



アンドルー・ローレンス=キング  
スペイン・バロック・ハープ  
Andrew Lawrence-King  
Spanish baroque harp



ハビエル・ディアス=ラトレ  
テオルボ  
Xavier Diaz-Latorre  
Theorbo



ダビド・マヨラル  
パーカッション  
David Mayoral  
Percussions



ジョルディ・サヴァール  
音楽監督、トレブル・ヴィオール、バス・ヴィオール  
Jordi Savall  
Direction, Treble Viol and Bass Viol

ジョルディ・サヴァールが故モンセラート・フィグラスと共に1974年にスイス・バーゼルで設立し、現在は活動の拠点をスペイン・バルセロナに置く古楽演奏集団。エスペリオンは、西の空に浮かぶ金星を表す古代ギリシャ語のエスペリア(西方)、ラテン語ではイタリア半島及びイベリア半島に暮らす者を意味した言葉に由来する。21世紀の訪れとともにグループの名称はエスペリオンXXからエスペリオンXXIになった。

10世紀から18世紀頃の特に地中海の音楽や新大陸に繋がる音楽遺産をレパートリーとしており、東洋と西洋の新たな結節点を探索し続けている。主要なものとしては、セファルディ(スペイン・ポルトガル系ユダヤ人)の音楽、カスティリーヤのロマッセ(物語音楽)、スペイン黄金世紀とヨーロッパ諸国の音楽などが挙げられる。コンサート・プログラムで高い評価を得ているものには、「アルフォンソ10世賢王編纂聖母マリアのカンティガ集」、「セファルディの離散」、「エルサレム、イスタンブール、アルメニアの音楽」ならびに「クリオローのフォリア」などが含まれる。

現在、エスペリオンXXIは、中世からバロック時代の音楽の理解を深めるに欠かせない中核的な存在となっている。作品や楽譜、楽器そして未発表の資料などを発掘し、歴史的知見に多くの新たな情報と理解をもたらした貢献は計り知れない。彼らは徹底的に革新性と芸術性を追求し、実験的な取り組みも行いながら、設立当初より当時の音楽を深く理解し、新たな息吹を吹き込み続けている。その比類なき表現は、古楽界における一つの流派として際立った存在となっている。

ご予約後、チケット代金の  
郵便振込ができます。

口座番号:〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156  
加入者名:三鷹市芸術文化センター

\*払込取扱票の  
通信欄に(予約番号)を  
ご記入ください。

\*普通郵便の場合82円、簡易書留ご希望の場合392円を加算してお振込みください。  
\*振込手数料はお客様のご負担になります。  
\*お振込後、10日程度でチケットをお届けします。

PARTNER

本公演のチケットまたはチケット半券で三鷹駅周辺の「チケットパートナーショップ」の特典が受けられます! <http://mitaka-sportsandculture.or.jp> \*サービス有効期間は公演日から7日間

### 託児あり

本公演には託児サービスがございます。  
対象:1歳~未就学児 定員:10名(要予約)  
料金:お子様一人につき500円  
申し込み:2018年11月10日(土)までに  
三鷹市芸術文化センターへ申し込みください。  
Tel:0422-47-5122

### 財団友の会「マークル」会員募集中!!

一般発売日より前に  
会員先行予約があります。

\*年会費2,000円  
\*チケットの優先予約・割引(1公演2枚まで)、  
ポイントの還元(ご利用額の5%)情報誌の送付、  
チケットの無料送付(口座会員のみの)、レストランの割引。



### 三鷹市芸術文化センター

181-0012 三鷹市上連雀6-12-14  
Tel:0422-47-5122

JR三鷹駅南口2番バス乗り場から  
「八幡前・芸術文化センター」下車すぐ。  
または6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。  
または徒歩約15分。

\*公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。\*公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。

\*未就学のお子様のお入場はできません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正面席最前列にご遠慮ください。\*2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。\*お車でのご来館はご遠慮願います。